


The legend of OBASAN



ここにいます
「がん電話情報センター」
あなたの知るを助けます

ancer

(全国一律の電話料金でご利用いただけます。
PHS、一部のIP電話からはご利用いただけません。)

おーここにじょうほう
0570-055224
受付時間：平日 12:00~17:00
(土日・祝祭日・年末年始・夏期休業を除く)

お茶は、「徹底的な他者配慮のかた
ちを借りて」真に自分と向き合うこ
と(2)に、現時点では理解し自戒して
いる。これが、骨髓提供の理念に似
ていると思う。骨髓バンクに登録し、
患者さんと型が一致したら、コーデ
イナーさんと規定に則ったやり

え、あ、なるほど」と思ったことが
ある。
お茶は、「徹底的な他者配慮のかた
ちを借りて」真に自分と向き合うこ
と(2)に、現時点では理解し自戒して
いる。これが、骨髓提供の理念に似
ていると思う。骨髓バンクに登録し、
患者さんと型が一致したら、コーデ
イナーさんと規定に則ったやり



NPO法人血液情報広場・つばさ理事長、
がん電話情報センターCTIS相談主任、
日本骨髓バンク(骨髓移植推進財団)常任理事

橋本 明子

私ももう若くない。ひたむきな悪
戦苦闘の姿も若い人ならむしろ美し
い。が、ここまで人生のベテランに
なったのだから、難しい局面こそ
余裕のある笑顔でいたいものだが、
できる時ばかりではないのが悔やま
れる日々だ。

結局ボランティアというのは、こ
の「余裕」を提供することかもしれ
ない。既に1万人以上の方々が、骨
髄提供をしている。その「余裕ある
生き方」に脱帽である。

私もう若くない。ひたむきな悪
戦苦闘の姿も若い人ならむしろ美し
い。が、ここまで人生のベテランに
なったのだから、難しい局面こそ
余裕のある笑顔でいたいものだが、
できる時ばかりではないのが悔やま
れる日々だ。

「伝説のおばさん」のオススメ 3

お茶の世界に学ぶ、 骨髓提供という ボランティア

橋本 明子



取りを繰返し、患者さんと会って話
すこともなく、淡々と採取病院へ向
かう。終われば黙して仕事や学問へ
復帰し、何事も無かったかのように
生活を継続する。かたち(ルール)が
基本の、とても静かな世界だ。

ところでお茶だが、あながい笑顔
がたいせつ、と私は感じている。お
点前(お茶を点て、飲んでもらう)で
は、お客との間では決められたい
つかの言葉があるだけ。この「決め
られた言葉」を受けるとき、小さく
ほほ笑むことが、私にとってはお茶
の腕前の次に必要だと思う。しかし、
それが出来るようになったのは、か
なりたってのことである。つまり、
気持ちに余裕がないと笑顔は出てこ
ない。

茶道をやっております、などと言
えるほどお茶のごとは何もわかって
いないのだが、ある茶道会の末席に加
えてもらっている。

もちろん骨髓バンク設立運動の頃
は、お茶の世界には触れる機会もな
かった。ずっと後(つまり近年)お茶
の入り口に立った、つまり本当に初

心者ではない私には、お茶につい
て語れることは何もない。ただ、お
茶のお稽古をつけていたときながら、
骨髓提供というボランティアについ
て、あ、なるほど」と思ったことが
ある。